

日本におけるロタウイルス胃腸炎の推定発生状況

発生リスク	死亡	入院	外来受診	発症
1:100,000	10~20	78,000	790,000	120万

突然の嘔吐、白色の下痢、高熱で発症し、ひどい脱水やけいれんなどの重い症状が出やすいことで知られています。毎年120万人が発症し、そのうち8万人近くが入院しています。

1. ロタウイルス胃腸炎を予防する経口生ワクチンです。世界では100カ国以上で承認・使用されています。
2. 重症ロタウイルス胃腸炎の発症を90%以上予防できます。
3. 国内試験で報告された副反応は、軽度の下痢、嘔吐などで重篤なものはありませんでした。
4. 重症複合型免疫不全を有する者、腸重積の既往のある者、腸重積を起こす可能性のある未治療の先天性消化管障害を有する者は接種できません。
5. ロタリックス（2回接種）、ロタテック（3回接種）の2種類ありますが、効果に差はありません。

※ワクチンの嘔吐を避けるため、接種1時間前からは授乳をひかえて下さい。

口タテック ¥ 8,700×3 (¥26,100)



ハピネスこどもクリニック 院長 tel. 087-848-9178

(2012. 7. 23)

